

2022年1月14日

各 位

会 社 名 サムティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 靖展
(東証第一部・コード3244)
問合せ先 経営企画部 IR室 定塚 泉美
(TEL 03-5224-3139)

(訂正・数値データ訂正)
「2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年9月30日に発表した「2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正がございましたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

当社会計監査人のEY新日本有限責任監査法人(以下、監査法人)による期末監査において、当社が監査法人との事前の協議を経て実施した2021年11月期第2四半期決算における現連結子会社である合同会社アール・アンド・ケイについての企業結合に関する会計処理に関し、2021年12月に監査法人が再検討した結果、負ののれん相当額の算定金額の見積もり及び収益計上区分について訂正が必要であると指摘がありました。当社として、当該指摘を受け慎重に検討を行った結果、2021年11月期第3四半期の四半期連結損益計算書において、営業外収益に計上していた負ののれん相当額の「持分法による投資利益」約23億円を、特別利益として「負ののれん発生益」へ振り替える処理を行うとともに、約13億円減額修正いたしました。なお、この処理の結果、2021年11月期における特別利益への「負ののれん発生益」を、約33億円計上することといたしましたので、関連する項目の数値の訂正を行うものであります。

2. 訂正箇所

(サマリー情報)

1. 2021年11月期第3四半期の連結業績(2020年12月1日～2021年8月31日)

- (1) 連結経営成績(累計)
- (2) 連結財政状態

(添付資料)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明
- (2) 財政状態に関する説明

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

- (1) 四半期連結貸借対照表
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(四半期連結包括利益計算書)
(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

2. 訂正の内容

(サマリー情報)

1. 2021年11月期第3四半期の連結業績(2020年12月1日～2021年8月31日)

【訂正前】

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第3四半期	55,607	17.3	5,466	△21.6	6,466	19.8	8,138	122.8
2020年11月期第3四半期	47,394	△34.0	6,973	△53.0	5,395	△59.0	3,653	△60.4

(注) 包括利益 2021年11月期第3四半期9,130 百万円(221.6%) 2020年11月期第3四半期2,838 百万円(△70.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	202.31	175.09
2020年11月期第3四半期	89.71	78.28

【訂正後】

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第3四半期	55,607	17.3	5,477	△21.5	4,171	△22.7	6,832	87.0
2020年11月期第3四半期	47,394	△34.0	6,973	△53.0	5,395	△59.0	3,653	△60.4

(注) 包括利益 2021年11月期第3四半期7,824 百万円(175.6%) 2020年11月期第3四半期2,838 百万円(△70.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	169.85	147.00
2020年11月期第3四半期	89.71	78.28

【訂正前】

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第3四半期	332,925	88,923	24.7
2020年11月期	250,864	77,699	30.7

(参考) 自己資本 2021年11月期第3四半期82,331 百万円 2020年11月期 77,028 百万円

【訂正後】

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第3四半期	333,133	89,711	24.3
2020年11月期	250,864	77,699	30.7

(参考) 自己資本 2021年11月期第3四半期81,025 百万円 2020年11月期 77,028 百万円

(添付資料)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

【訂正前】

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国においては、東京オリンピック、パラリンピックが開催されたほか、新型コロナウイルス感染症デルタ株の感染拡大により、緊急事態宣言の実施区域が拡大されました。足元ではワクチン接種率が上昇、海外渡航向けの発行を目的に「ワクチンパスポート」（接種証明書）をオンラインで発行する方針が政府のデジタル社会推進会議において決定され、社会経済活動の正常化に近づきつつあります。

当社グループの属する不動産業界の状況は、賃貸マンションについては、景気動向やコロナ禍の影響を受けにくいことから、稼働率、賃料水準及び物件売買価格のいずれも堅調に推移しております。また国土交通省の地価L00Kレポートによると、3四半期連続で上昇地区が増加しており、新型コロナウイルス感染症による地価への大きな影響は見受けられません。

このような事業環境のもと、当社グループは、2021年1月に公表した中期経営計画の戦略に則り、賃貸マンションの売却時期を会計年度の後半にするなど、インカムゲインの最大化を企図した取組みを開始いたしました。物件の仕入れにつきましては、開発用地、収益物件ともに順調に進捗しております。またホテル投資への取組みとして、2021年5月に、東京証券取引所市場第二部上場のウェルス・マネジメント株式会社（以下「WM社」）と資本業務提携契約の締結、当第3四半期会計期間よりWM社を持分法適用関連会社といたしました。中期経営計画において、アフターコロナのホテルマーケットを見据えたホテルREIT設立のための取組みの継続も基本方針の1つとしており、ホテルの再生・開発や、投資案件の情報ルートに強みを持つデベロッパーであるWM社と協業することで、より一層厳選したホテル投資を加速度的に推進いたします。また計画しているホテルREITにつきましても、設立に向けて手続きを進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高55,607百万円（前年同四半期比17.3%増）、営業利益5,466百万円（前年同四半期比21.6%減）、経常利益6,466百万円（前年同四半期比19.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,138百万円（前年同四半期比122.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(不動産事業)

不動産事業は、自社ブランド「S-RESIDENCE」シリーズ等の企画開発・販売及び収益不動産等の企画開発、再生・販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、サムティ・レジデンシャル投資法人へ全国の主要都市を中心とした23物件、合計約250億円の販売用不動産を売却したほか、ホテルアセットとして「アゴーラ京都四条（京都市下京区）」、「アゴーラ京都烏丸（京都市下京区）」を売却いたしました。

この結果、当該事業の売上高は47,306百万円（前年同四半期比19.5%増）、営業利益は8,719百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業は、マンション、オフィスビル、商業施設、ホテル等の賃貸及び管理を行っております。

インカムゲインの最大化を企図し、当第3四半期連結累計期間において物件取得が順調に推移し、46物件、合計約399億円の収益物件を取得したほか、30棟の開発物件を竣工いたしました。

この結果、当該事業の売上高は6,111百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は2,606百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、ホテルの保有・運営ならびに、分譲マンション管理事業及び建設・リフォーム業等を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、「エスベリアホテル福岡中洲（福岡市博多区）」、「アロフト大阪堂島（大阪市北区）」を開業、取得し、保有・運営は17棟となりました。当社グループ保有・運営のホテルにおいて、緊急事態宣言の影響を受けておりますが、ワクチン接種率上昇による需要の回復が見込まれます。またホテル投資への取組みとして、WM社との資本業務提携契約の締結、持分法適用関連会社とし、厳選したホテル投資を推進しております。

この結果、当該事業の売上高は2,189百万円（前年同四半期比26.2%増）、営業損失は2,348百万円（前年同四半期は602百万円の営業損失）となりました。

【訂正後】

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国においては、東京オリンピック、パラリンピックが開催されたほか、新型コロナウイルス感染症デルタ株の感染拡大により、緊急事態宣言の実施区域が拡大されました。足元ではワクチン接種率が上昇、海外渡航向けの発行を目的に「ワクチンパスポート」（接種証明書）をオンラインで発行する方針が政府のデジタル社会推進会議において決定され、社会経済活動の正常化に近づきつつあります。

当社グループの属する不動産業界の状況は、賃貸マンションについては、景気動向やコロナ禍の影響を受けにくいことから、稼働率、賃料水準及び物件売買価格のいずれも堅調に推移しております。また国土交通省の地価LOOKレポートによると、3四半期連続で上昇地区が増加しており、新型コロナウイルス感染症による地価への大きな影響は見受けられません。

このような事業環境のもと、当社グループは、2021年1月に公表した中期経営計画の戦略に則り、賃貸マンションの売却時期を会計年度の後半にするなど、インカムゲインの最大化を企図した取組みを開始いたしました。物件の仕入れにつきましては、開発用地、収益物件ともに順調に進捗しております。またホテル投資への取組みとして、2021年5月に、東京証券取引所市場第二部上場のウェルス・マネジメント株式会社（以下「WM社」）と資本業務提携契約の締結、当第3四半期会計期間よりWM社を持分法適用関連会社といたしました。中期経営計画において、アフターコロナのホテルマーケットを見据えたホテルREIT設立のための取組みの継続も基本方針の1つとしており、ホテルの再生・開発や、投資案件の情報ルートに強みを持つデベロッパーであるWM社と協業することで、より一層厳選したホテル投資を加速度的に推進いたします。また計画しているホテルREITにつきましても、設立に向けて手続きを進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高55,607百万円（前年同四半期比17.3%増）、営業利益5,477百万円（前年同四半期比21.5%減）、経常利益4,171百万円（前年同四半期比22.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,832百万円（前年同四半期比87.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（不動産事業）

不動産事業は、自社ブランド「S-RESIDENCE」シリーズ等の企画開発・販売及び収益不動産等の企画開発、再生・販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、サムティ・レジデンシャル投資法人へ全国の主要都市を中心とした23物件、合計約250億円の販売用不動産を売却したほか、ホテルアセットとして「アゴーラ京都四条（京都市下京区）」、「アゴーラ京都烏丸（京都市下京区）」を売却いたしました。

この結果、当該事業の売上高は47,306百万円（前年同四半期比19.5%増）、営業利益は8,719百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業は、マンション、オフィスビル、商業施設、ホテル等の賃貸及び管理を行っております。

インカムゲインの最大化を企図し、当第3四半期連結累計期間において物件取得が順調に推移し、46物件、合計約399億円の収益物件を取得したほか、30棟の開発物件を竣工いたしました。

この結果、当該事業の売上高は6,111百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は2,606百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。

（その他の事業）

その他の事業は、ホテルの保有・運営ならびに、分譲マンション管理事業及び建設・リフォーム業等を行って

おります。当第3四半期連結累計期間においては、「エスペリアホテル福岡中洲（福岡市博多区）」、「アロフト大阪堂島（大阪市北区）」を開業、取得し、保有・運営は17棟となりました。当社グループ保有・運営のホテルにおいて、緊急事態宣言の影響を受けておりますが、ワクチン接種率上昇による需要の回復が見込まれます。またホテル投資への取組みとして、WM社との資本業務提携契約の締結、持分法適用関連会社とし、厳選したホテル投資を推進しております。

この結果、当該事業の売上高は2,189百万円（前年同四半期比26.2%増）、営業損失は2,337百万円（前年同四半期は602百万円の営業損失）となりました。

【訂正前】

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ、82,061百万円増加し、332,925百万円となっております。主な増減要因は、順調に物件取得が進捗し、販売用不動産、仕掛販売用不動産、有形固定資産（収益物件等）が100,571百万円増加したことにより、現金及び預金が13,221百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ、70,837百万円増加し、244,001百万円となっております。主な増減要因は、開発用地、収益物件を合わせ90件超の物件取得に伴う、借入金65,460百万円の増加であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ11,223百万円増加し、88,923百万円となっております。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金8,138百万円、S-VIN VIETNAM REAL ESTATE TRADING JOINT STOCK COMPANY（ベトナム国ハノイ市におけるスマートシティ分譲住宅事業プロジェクト会社）及び、合同会社アール・アンド・ケイ（アロフト大阪堂島を保有するSPC（特別目的会社））を連結子会社としたこと等による非支配株主持分5,920百万円の増加であります。

【訂正後】

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ、82,269百万円増加し、333,133百万円となっております。主な増減要因は、順調に物件取得が進捗し、販売用不動産、仕掛販売用不動産、有形固定資産（収益物件等）が100,768百万円増加したことにより、現金及び預金が13,221百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ、70,257百万円増加し、243,421百万円となっております。主な増減要因は、開発用地、収益物件を合わせ90件超の物件取得に伴う、借入金65,460百万円の増加であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ12,012百万円増加し、89,711百万円となっております。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金6,832百万円、S-VIN VIETNAM REAL ESTATE TRADING JOINT STOCK COMPANY（ベトナム国ハノイ市におけるスマートシティ分譲住宅事業プロジェクト会社）及び、合同会社アール・アンド・ケイ（アロフト大阪堂島を保有するSPC（特別目的会社））を連結子会社としたこと等による非支配株主持分8,014百万円の増加であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

【訂正前】

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,511	29,290
売掛金	1,395	673
販売用不動産	58,265	120,274
仕掛販売用不動産	42,512	69,799
商品	1	0
貯蔵品	12	22
その他	13,915	4,989
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	158,608	225,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,835	21,761
信託建物（純額）	3,689	3,137
土地	42,482	50,535
信託土地	3,322	2,314
その他（純額）	4,608	5,464
有形固定資産合計	71,938	83,214
無形固定資産		
のれん	10	9
その他	133	118
無形固定資産合計	143	128
投資その他の資産		
投資有価証券	15,835	20,609
繰延税金資産	693	232
その他	3,711	3,748
貸倒引当金	△66	△53
投資その他の資産合計	20,173	24,537
固定資産合計	92,255	107,879
資産合計	250,864	332,925

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	381	1,915
短期借入金	16,883	11,595
1年内返済予定の長期借入金	14,715	22,815
未払法人税等	4,063	557
その他	3,452	3,560
流動負債合計	39,497	40,444
固定負債		
社債	5,000	9,000
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	116,406	179,054
退職給付に係る負債	212	233
預り敷金保証金	1,323	1,453
建設協力金	427	386
繰延税金負債	—	3,132
その他	297	297
固定負債合計	133,666	203,557
負債合計	173,164	244,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,227	16,281
資本剰余金	17,985	18,038
利益剰余金	43,615	48,395
自己株式	△883	△1,268
株主資本合計	76,945	81,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	1,079
為替換算調整勘定	△97	△194
その他の包括利益累計額合計	83	885
非支配株主持分	671	6,591
純資産合計	77,699	88,923
負債純資産合計	250,864	332,925

【訂正後】

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,511	29,290
売掛金	1,395	673
販売用不動産	58,265	120,471
仕掛販売用不動産	42,512	69,799
商品	1	0
貯蔵品	12	22
その他	13,915	4,989
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	158,608	225,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,835	21,761
信託建物（純額）	3,689	3,137
土地	42,482	50,535
信託土地	3,322	2,314
その他（純額）	4,608	5,464
有形固定資産合計	71,938	83,214
無形固定資産		
のれん	10	9
その他	133	118
無形固定資産合計	143	128
投資その他の資産		
投資有価証券	15,835	20,619
繰延税金資産	693	232
その他	3,711	3,748
貸倒引当金	△66	△53
投資その他の資産合計	20,173	24,547
固定資産合計	92,255	107,890
資産合計	250,864	333,133

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	381	1,915
短期借入金	16,883	11,595
1年内返済予定の長期借入金	14,715	22,815
未払法人税等	4,063	557
その他	3,452	3,560
流動負債合計	39,497	40,444
固定負債		
社債	5,000	9,000
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	116,406	179,054
退職給付に係る負債	212	233
預り敷金保証金	1,323	1,453
建設協力金	427	386
繰延税金負債	—	2,551
その他	297	297
固定負債合計	133,666	202,977
負債合計	173,164	243,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,227	16,281
資本剰余金	17,985	18,038
利益剰余金	43,615	47,089
自己株式	△883	△1,268
株主資本合計	76,945	80,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	1,079
為替換算調整勘定	△97	△194
その他の包括利益累計額合計	83	885
非支配株主持分	671	8,685
純資産合計	77,699	89,711
負債純資産合計	250,864	333,133

【訂正前】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年8月31日)
売上高	47,394	55,607
売上原価	33,081	44,089
売上総利益	14,313	11,517
販売費及び一般管理費	7,339	6,051
営業利益	6,973	5,466
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	11
持分法による投資利益	—	2,481
為替差益	—	783
金利スワップ評価益	36	28
その他	17	109
営業外収益合計	68	3,414
営業外費用		
支払利息	1,369	1,667
社債利息	—	114
支払手数料	253	616
その他	23	16
営業外費用合計	1,646	2,415
経常利益	5,395	6,466
特別利益		
固定資産売却益	0	—
助成金収入	13	—
過年度消費税等戻入額	138	—
負ののれん発生益	—	3,317
特別利益合計	153	3,317
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	0	2
本社移転費用	—	191
臨時休業による損失	101	—
特別損失合計	109	194
税金等調整前四半期純利益	5,439	9,589
法人税、住民税及び事業税	1,670	1,313
法人税等調整額	75	64
法人税等合計	1,745	1,378
四半期純利益	3,694	8,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,653	8,138

【訂正後】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年8月31日)
売上高	47,394	55,607
売上原価	33,081	44,089
売上総利益	14,313	11,517
販売費及び一般管理費	7,339	6,040
営業利益	6,973	5,477
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	11
持分法による投資利益	—	175
為替差益	—	783
金利スワップ評価益	36	28
その他	17	109
営業外収益合計	68	1,108
営業外費用		
支払利息	1,369	1,667
社債利息	—	114
支払手数料	253	616
その他	23	16
営業外費用合計	1,646	2,415
経常利益	5,395	4,171
特別利益		
固定資産売却益	0	—
助成金収入	13	—
過年度消費税等戻入額	138	—
負ののれん発生益	—	4,307
特別利益合計	153	4,307
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	0	2
本社移転費用	—	191
臨時休業による損失	101	—
特別損失合計	109	194
税金等調整前四半期純利益	5,439	8,283
法人税、住民税及び事業税	1,670	1,313
法人税等調整額	75	64
法人税等合計	1,745	1,378
四半期純利益	3,694	6,905
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,653	6,832

【訂正前】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	3,694	8,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△810	899
為替換算調整勘定	△45	18
その他の包括利益合計	△855	918
四半期包括利益	2,838	9,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,797	8,940
非支配株主に係る四半期包括利益	41	189

【訂正後】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	3,694	6,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△810	899
為替換算調整勘定	△45	18
その他の包括利益合計	△855	918
四半期包括利益	2,838	7,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,797	7,634
非支配株主に係る四半期包括利益	41	189

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

【訂正前】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	不動産賃貸 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,306	6,111	2,189	55,607	—	55,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	21	258	292	△292	—
計	47,319	6,133	2,447	55,900	△292	55,607
セグメント利益又は損失(△)	8,719	2,606	△2,348	8,978	△3,511	5,466

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,511百万円は、セグメント間取引消去△30百万円、各報告セグメントに配賦されない全社費用△3,480百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

【訂正後】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	不動産賃貸 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,306	6,111	2,189	55,607	—	55,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	21	258	292	△292	—
計	47,319	6,133	2,447	55,900	△292	55,607
セグメント利益又は損失(△)	8,719	2,606	△2,337	8,988	△3,511	5,477

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,511百万円は、セグメント間取引消去△30百万円、各報告セグメントに配賦されない全社費用△3,480百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

以上